

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和5年度第3回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和5年11月17日(金) 午後1時30分～2時15分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報 告

各地区の進捗状況報告について

4. 議 題

(1) 「まつどDEつながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について

(2) 「まつどDEつながるステーション」の承認・活動費の支出について
(常盤平地区・新松戸地区)

5. その他

令和5年度松戸市居場所交流会について(報告)

4 出 席 者

(1) 出席委員(9名)

| | | |
|----|-------|-----------------------|
| 会長 | 小川 早苗 | 松戸市社会福祉協議会 会長 |
| 委員 | 安蒜 正己 | 松戸市町会・自治会連合会 副会長 |
| 委員 | 平川 茂光 | 松戸市民生児童委員協議会 会長 |
| 委員 | 梶原 栄治 | 松戸市民生児童委員協議会 副会長 |
| 委員 | 山崎 恵 | 特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事 |
| 委員 | 伊東 朱美 | 松戸市総合政策部 部長 |
| 委員 | 上野 真一 | 松戸市市民部 部長 |
| 委員 | 松本 篤人 | 松戸市福祉長寿部 部長 |
| 委員 | 藤谷 隆 | 松戸市生涯学習部 部長 |

(2) 出席機関(7名)

松戸市総合政策部地域共生課

(3) 事務局(6名)

松戸市社会福祉協議会

5 議事内容

■各地区の進捗状況報告について

松戸市地域共生課より説明。

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問 1】

実行委員会が立ち上がってない地区が4地区あり、うち五香松飛台地区は動き始めたとのことだがその他の3地区の進捗状況を聞きたい。

【回答 1】

明第2東地区、本庁地区、常盤平団地地区の3地区は機会があるごとに事業説明や他地区の進捗状況を報告し、地域の実情に合わせて無理のないようスタートできればと考えている。

【質問 2】

生徒の参加がみられるようになったとあったが詳しく聞きたい。

【回答 2】

馬橋地区で参加者が多い。これは普段から県立松戸高等学校と地域とのつながりがあり、実行委員会委員長と高校へ話をしたところ、学校側が率先して生徒に声かけをしてくれたものである。現在は、ステーションをきっかけにボランティアをする委員会が立ち上がり、毎回10名程の生徒が会場の設営や場の盛り上げ、片づけなどを手伝ってくれている。

馬橋西地区でも松戸馬橋高等学校と実行委員会のメンバーとのつながりがあり、学校へ声かけをしたところ参加してくれ、次回も10名程参加予定である。

市内の高校4校、松戸六実高等学校、松戸向陽高等学校、県立松戸高等学校、松戸馬橋高等学校の生徒に積極的に参加してもらっている。

■「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について

事務局より説明。

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

■「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

(1)常盤平地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

常盤平地区ステーションの開催概要

| | |
|---------|------------------------------------|
| ステーション名 | まつどDEつながるステーション in ときわ平 |
| 目的 | 地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。 |
| 期間 | 令和6年1月～3月 |

| | |
|--------|--|
| 開催場所 | 市民センター、地区内の集会所 等 |
| 開催内容 | ・地区内の既存活動を周知・体験 ・常盤平地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施 |
| 主な対象者 | 常盤平地区在住者及び在勤、在学者 |
| 参加者人数 | 1回 20～50人程度 |
| 運営者人数 | 1回 10～20人程度 |
| 広報手段 | チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各委員の活動での告知） |
| 助成金申請額 | 120,000円 |

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問 1】

謝礼金について、もう一度説明してほしい。謝礼ではなく食糧費ではないか。

【回答 1】

コーヒー等を出してもらおうボランティア団体に1杯いくらかで個数を依頼し、その分を支払う予定であり、手間を含めた謝礼として予算へ計上した。ご指摘いただいたとおり実行委員会へフィードバックし、実績報告では食糧費で計上させてもらえればと思う。

【質問 2】

実施内容に地区内の既存活動の周知・体験とあるが、何か新しい取り組みをする予定があるのか。

【回答 2】

既存の活動として1月に牧の原団地でどんど焼き、3月に聖パウロ教会で子ども食堂があるので、そこにステーションで茶話コーナーを設け、さらに情報コーナーも設置し、地域の情報を周知したいと考えている。

(2)新松戸地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

新松戸地区ステーションの開催概要

| | |
|---------|--|
| ステーション名 | 新松戸地区「まつど DE つながるステーション」 |
| 目的 | ・ステーション活動を通じて多世代交流の機会を生み出すことにより、地区内で顔見知りを増やすきっかけとする。 ・新松戸地区の特色を活かしたプログラムを実践することにより、地区へのシビックプライド等を醸成するきっかけとする。 |
| 期間 | 令和6年1月～3月 |
| 開催場所 | 新松戸市民センター |
| 開催内容 | ・古本等による市（いち） |

| | |
|--------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな遊びを通じた多世代間交流 ・カフェスペース ・新松戸地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施 |
| 主な対象者 | 新松戸地区在住者及び在勤、在学者 |
| 参加者人数 | 1回 100人程度 |
| 運営者人数 | 1回 20人程度 |
| 広報手段 | チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（ロコミ、各委員の活動での告知） |
| 助成金申請額 | 120,000円 |

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

消耗品費の内容について説明してほしい。

【回答】

消耗品費 53,400 円のうち初回 30,000 円を紙コップや遊び道具、各種消耗品の購入を予定。2 回目 23,400 円は遊び体験としてけん玉とすごろく等を購入する予定。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

新松戸の分館は「こどものとしょかん」も併設しているので、本に親しむ機会を通じて取り組んでくれることがありがたい。今後、連携等があれば相談してもらえればと思う。

最近、読書は脳がリラックスし、ストレスが緩和されると科学的に証明された。ステーションを開催するときに穏やかになるということは大変大事であると思う。

6 その他

(1) 令和 5 年度松戸市居場所交流会について(報告)

事務局より説明。

(2) 今後の予定

令和 5 年度第 4 回松戸市居場所づくり全体会議の開催

日時: 令和 6 年 2 月 16 日(金) 午後 1 時 30 分～